

# ◆大野町第六次総合計画◆

## － 後期基本計画 －

大野町では、平成27（2015）年度に第六次総合計画を策定し、令和6（2024）年度を目標年次として将来像である「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」の実現を目指して計画的なまちづくりを推進しています。その中で、平成30（2018）年7月に開駅した道の駅「パレットピアおおの」や、令和元（2019）年12月に開通した東海環状自動車道大野神戸ICといったインパクトをいかに町の活性化につなげていくか、また、少子高齢化、高度情報化など変化し続ける現代の社会情勢にいかに対応していくか、新たなまちづくり

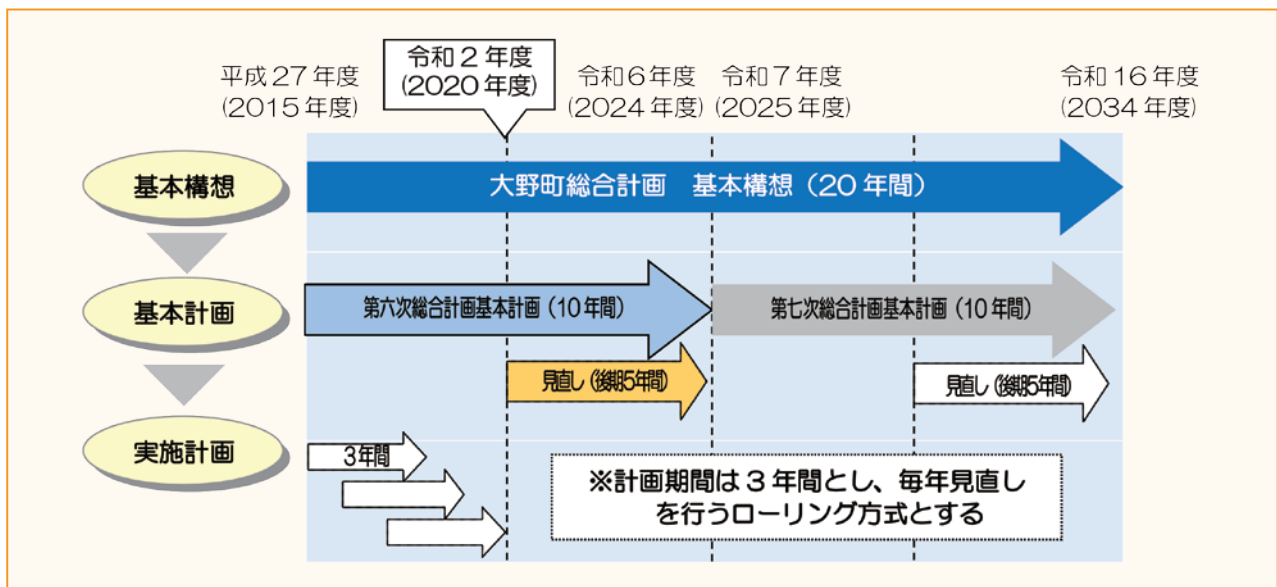
の課題も生まれています。

これを受けて、令和元（2019）年度に前期基本計画の5年が終了するにあたり、前期基本計画中の取り組みの成果や今後の課題を把握したうえで、今後の具体的な方向性を示すための基本方針として後期基本計画を策定いたしました。

その総合計画を指針として、町民と行政との協働により、町民の創意と知恵を結集し、大野町の地域特性を活かした、持続可能で自立したまちづくりを進めていきたいと考えます。

### ◆構成と期間

大野町総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成します。



### ◆将来像

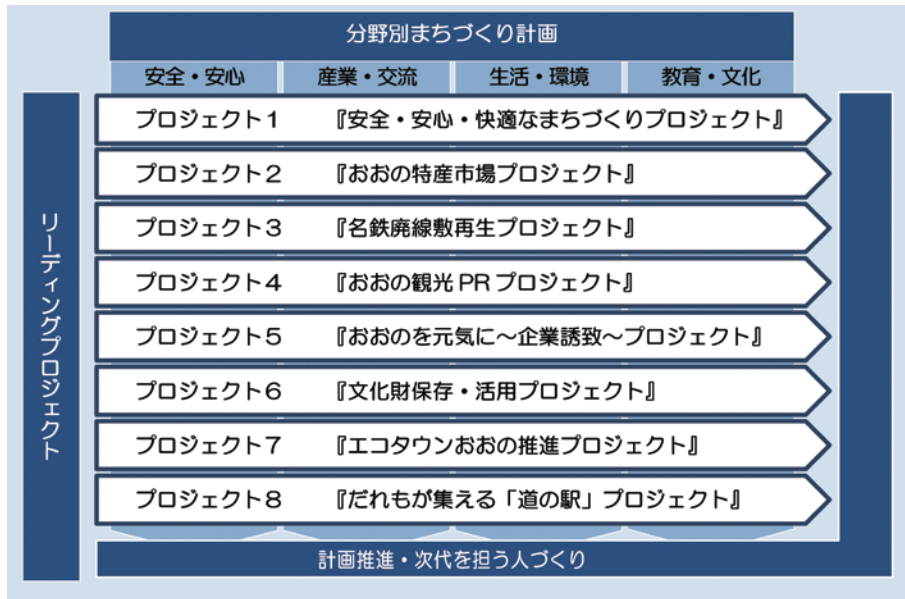
## 快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの

### ◆まちづくりのフレーム

- 人口：計画目標年次の令和16（2034）年には21,455人程度を維持するものとします。
- 土地利用：緑豊かな自然と肥沃な大地、清流に恵まれたまちである地域特性を最大限に活かし、町全体の調和のとれた発展のため、適正な土地利用を進めます。特に、大野神戸ICの開通を契機に、観光・商工業振興、公共交通・広域防災拠点等の整備を促す土地利用を進めます。また、町民との協働により、環境に配慮した地域づくりを進め、豊かな自然環境を保全していきます。

## ◆リーディングプロジェクト

重点課題に対し、各分野の横断的な取り組みによって課題解決を図り、まちづくりを先導します。



## ◆分野別まちづくり計画

将来像の実現に向けて、まちづくり分野に対応した4つの基本目標と、計画推進・次代を担う人づくりのための推進目標を設定し、これらに基づき具体的な施策を進めます。

### (1) 安全・安心分野

**基本目標** 「助けあい」と「支えあい」で育む安全・安心なまちを目指します

節	基本施策
第1節 安全確保	1 防災・消防・救急 2 防犯・交通安全 3 消費生活
第2節 健康づくりと保健医療	1 健康増進 2 保健・医療
第3節 社会福祉	1 地域福祉 2 高齢者福祉 3 障がい者福祉 4 子育て支援 5 社会保険制度

### (2) 産業・交流分野

**基本目標** 郷土の恵みを活かした「にぎわい」と「憩い」を感じられるまちを目指します

節	基本施策
第1節 産業振興	1 農業 2 商・工業
第2節 観光・交流	1 観光・交流

### (3) 生活・環境分野

**基本目標** 快適な暮らしを支える自然と共生した持続可能なまちを目指します

節	基本施策
第1節 都市基盤	1 市街地整備 2 河川・水路 3 公園・緑地 4 住宅 5 生活排水 6 水の供給
第2節 交通ネットワーク	1 道路 2 交通（公共交通）
第3節 生活環境	1 ごみ処理 2 環境保全

### (4) 教育・文化分野

**基本目標** 「古」と「新」が共存し、地域を愛し、みんなで学びあえるまちを目指します

節	基本施策
第1節 学校教育	1 学校教育
第2節 生涯学習・生涯体育	1 生涯学習 2 生涯体育
第3節 地域文化	1 地域文化

## 計画推進・次代を担う人づくり

●分野別まちづくり計画やリーディングプロジェクトを着実に推進していくため、様々な人との連携と協働を図り、計画的で効率的な行財政運営を進めます。